

消費者と提携し地域農業を守る

下郷農協



2020

3 No. 703

March



産直消費者が
料理会で交流

詳しくは
P6でご紹介



「企業参入」進める規制改革会議

国連の進める「家族農業10年」に逆行

代表理事組合長 矢崎 和 廣



政府方針に沿った規制改革会議

2月10日、政府の規制改革会議は、農林水産ワーキンググループ（座長＝佐久間総一郎日本製鉄常任顧問）を開き、新規就農の支援策について農水省から聴取しました。

その中で、個人単位で新規就農を促すよりも企業の農業参入を推進し、農地制度も見直した方が良いとする意見が多数出たと言います。

規制改革では、以前より株式会社などが農地取得を出来るように求めてきた経過があり、新規就農支援を盾に農地制度見直しを含めた企業の農業参入が議題となる可能性が大きくなっています。

企業参入が進む一方で

農業における企業参入は、政府農業政策での「農業の成長産業化」を前提に進んでおり、一方では家族経営を支える制度を廃止し、縮小させています。

大分県でも毎年約20件の企業新規参入があり、国などの手厚

い支援によって施設をはじめ大規模な事業が実施され、野菜を中心に合計80名を超える人たちが新たに農業に携わっています。

大分県の単年度農業新規参入者の内、約半数がこのような企業で働く従業員も入っており、雇用に対する補助金も含め、企業の農業参入は実践しやすい状況になっています。

しかし、一方で企業は儲からないと判断すれば撤退するという側面も持っています。実態として約一割が事業の廃止をしています。

家族農業も同じですが、そもそもその生業と産業の違いのよう

に規模も考え方も違います。企業参入は始める規模が大き

いだけに廃業、撤退すれば後に地域としても大きな問題となりかねません。

政府が推進する成長産業化としての農業で品目を絞ったり、一つの生産に集中するという農業の専門特化は、一方ではリスクも高いと言わざるを得ません。

家族農業の必要性

そのような中、実態として農業後継者不足や農地の荒廃が進んでいるのも事実であり、企業の農業参入や農地の集積等も大事ですが、そもそも家族農業や小規模農業が出来なくなっている農政を転換しなければ「農業

の成長産業化」政策さえも行き詰ります。

世界中で農業の大規模化が進む中、国連は2019年と2028年の10年間で「家族農業の10年」とし、『小農』に注目するように促しています。

「家族農業」について『家族農業が世界の未来を拓く』（農文協）の書籍では、

- ① 世界の農業の9割は家族農業である。
 - ② 世界の飢餓の解消にはこれへの支援しかない。
 - ③ 小規模農業は工業的大規模農業に比べて土地生産性が高い。
 - ④ 各国、各民族の芸能文化の継承者であり、民族のふるさとである。
 - ⑤ 農業の専門特化はリスクを高める。
- と報告しています。まさに、世界にとって「家族農業」は推進しても廃止してはならないものです。

政府の間違った理解

世界の農業の9割が家族農業（日本は98%以上を占める）であり、面積でも世界的には5ha以下は95%（2015年）にもなります。

この点からも日本の農業だけが零細で競争力が低いのではなく、世界でもその事が一般的なのです。特に米国やオーストラリアなどのような大きなところとばかり比較するので「日本農業は零細で競争力が低い」という事になるのです。

日本の農業がどのように進むのかは、国連をはじめ世界でも注目されています。

日本政府は「家族農業10年」を否定こそしませんが、農業政策は明らかに逆行しています。

中でも、必ず上げると言ってきた食料自給率は、いよいよカロリーベースで37%まで落ち込んでいる。国民が生きて行くための食べ物の63%は輸入食品であるのが実態です。

そして、その一方で食品ロスの問題も深刻です。日本の食品廃棄は年間6,000万トンを超え、国連が飢餓地域に食料支援している量の2倍になるといいます。

この実態に対し、政府は「食品ロス削減推進法」を昨年6月に制定しましたが、そもそも自国で生産出来るのにそれをせず、飢餓で苦しんでいる人々に回すべき食料を高く買ってくる日本に諸外国は輸出するという事態です。

長きに亘る農業政策によって家族農業が行き詰まり、「成長産業化」と言いながら大規模農業のみを推進し、世界の飢餓の減少を邪魔しているのが日本です。

家族農業に寄り添い農協

「家族農業」に寄り添って「家族農業」と共に発展し、地域に役立つ存在が「農協」です。

「日本の農家の70%を占める兼業農家が副収入として農産物を生産・出荷し、農協が手伝いをする。兼業農家、家族農業で地域を保全・管理し、農協が農家の生産や生活の役に立つ。」そうやって下郷農協も地域に根ざし、地域とともに生き残っていきます。

地方再生のヒント (46)

ゲノム編集は、遺伝子組み換えと判断したEU、一方、表示義務さえなく導入を急いだ日本

その昔、ペルーの「イモ類研究所」のジーンバンクの入り口で、もろ刃の剣のレリーフ装飾を指さしながら、一人の学者がこう言いました。

「科学技術はもろ刃の剣です。使い方次第では人類を幸福にもすれば、災いをもたらしてもします。ここで働く研究者たちは、そのことを日々、肝に命じるようにしています」

昨今のゲノム編集を巡る報道を見てみると、その言葉をしきりに思い出します。

米国で、ゲノム編集された小麦と大豆の販売が認可されたのは、まだ2018年のこと。国内でも血圧を下げるトマト、筋肉が4倍のマダイ、アレルギー物質の少ない卵、芽に毒のないジャガイモなどが、昨年10月から店頭に並びました。

まだ安全性は十分に保証されておらず、食べたくない人がいても、日本では表示義務さえありません。これを昨年9月19日に決定したのは消費者庁です。遺伝子を壊したり、置き換える

ゲノム編集は、従来の品種改良と変わらず、他の生物の遺伝子を挿入する遺伝子組み換えとは違うというのが理由です。米国の主張も同じ。ところが欧州連合(EU)議会は、一昨年、ゲノム編集を遺伝子組み換え食品と同じと見なし規制していく方針を決議しました。

日本政府はなぜゲノム編集食品の導入を急ピッチで進めたのでしょうか? 一国民として、納得できません。例えば将来、体に無害らしいという結果が出たとしても、私は、農家と生命産業が、大手企業に高度に管理されていくことや、生態系への負のインパクトを懸念しています。「安心・安全」をうたう食品が、環境に負荷を与え、アレルギーや疾病を増大させるのでは話にならないからです。

昨年10月、「日本の種子を守る会」の会合が、元農水大臣で弁護士山田正彦氏の事務所で開催されました。遺伝子組み換え作物を巡る世界の動きに通じた印鑰(いんやく) 智哉氏も同席

され、一同の合点がいったのは、グリホサート系除草剤とセット販売の遺伝子組み換え作物にはもう火が付いた今、バイオ産業が次に望みを託したのがゲノム編集食品である、ということ。遺伝子組み換え作物については、この数年、米国でも動向が急変、批判が高まっています。2016年、カリフォルニア州の70代の夫婦が、自宅の庭にグリホサート系除草剤を散布し続けたことでがんを発症したと訴えます。するとカリフォルニア州の裁判所は、その因果関係を認め、販売者のモンサント社(これを買収したバイエル社)に対し、総額2260億円もの支払いを命じる判決を下したのです。モンサント社の敗訴は3件目で、米国だけで同様の訴訟は約5万件控えているそうです。同国の消費者たちの声を反映した象徴的金額で、EUでも2024年からグリホサート系除草剤の販売を禁止予定です。一方、日本では、厚生労働省が発がん性を認められないとし、ホームセンターでもさまざまなラベルで売られています。

昨年春、会員約40万人の「生活クラブ」は、ゲノム編集食品は扱わないと発表。近く、この

ノンフィクション作家 ● 島村菜津

動きにさらに大きな消費者団体や大手コンビニチェーン店なども賛同するだろうという見通しもあります。ゲノム編集が、絶望的だった難病の治療などに貢献することは認めますが、「もろ刃の剣」の教えを、すべての研究者に忘れないでほしいものです。



『ゲノム編集の光と闇』青野由利著。加速するゲノム研究の裏側を分かりやすく解説＝2019年2月刊・ちくま新書(左)と『売られる食の安全』山田正彦著。種子法廃止を受け、種子条例を制定した11道県の動きなど食の安全を巡る国内外の近年の動向を報告＝2019年8月刊・角川新書。年末には、米国の市民団体代表のゼン・ハニーカット氏が来日、12月2日の東京を皮切りに、全国7カ所を回り、米国の食を巡る現状などを報告した。

島村 菜津(しまむら なつ) ノンフィクション作家。1963年生まれ。東京芸術大学美術学部イタリア美術史卒。イタリアでの留学経験をもとに『スローフードな人生』(新潮社)を上梓、日本にスローフードの考えを紹介する。『スローな未来へ』(小学館)『そろそろスローフード』(大月書店)『スローシティー』(光文社)など著書多数。新刊に共著の『ジョージアのクヴェヴリワインと食文化』(誠文堂新光社)。

注目のパラリンピック競技

東京で開催されるパラリンピック競技大会では、22競技が実施されます。

そのうちパラリンピック特有のボッチャとゴールボール、2016年のリオのパラリンピックから採用された

カーヌーとトライアスロンの4競技についてルールと見どころをご紹介します。イラスト：服部新一郎

ボッチャ

緻密な戦略で

トリッキーな展開が

繰り上げられる頭脳戦

ボッチャとは

重度脳性麻痺(まひ)者、もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために欧州で考案された球技です。1984年からパラリンピック正式種目として行われています。

「陸上のカーリング」という異名を持ち、赤・青のボールをそれぞれ6球ずつ投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールにいかにか近づけるかを競います。手で投げられない場合は、足で蹴る、あるいは勾配具(ランプ)を使って転がすなどの方法で投球を行います。パラリンピックでは障がいの種類と程度によって4クラスに分けられ、それぞれ個人戦とチーム戦(またはペア戦)で順位を競います。男女の区別はありません。ボールは大きさと重さは規定されていますが、皮やフェルトなど



材質や硬さは選手の障がいの特性やブレースタイルによって使い分けられるマイボール制です。

見どころ

まさに頭脳戦。さまざまな戦術を駆使して競技に臨みます。最初に投げるジャックボールの位置をどこにするかで駆け引きが始まります。遠い位置に投げるか、近距離で勝負するか。何を主に置くかで戦い方が変わります。

カーリングのように相手のボールをはじくなど、自分が優位に立てるように位置取りしていきます。ジャックボールの位置そのものも球ではじいて移動させることができます。そこがカーリングとは異なる点であり、戦局がどう展開していくか見逃せないポイントです。

ゴールボール

第2次世界大戦で視覚に障がいを受けた傷痍(しょうい)軍人のリハビリテーションプログラムとして考案された、視覚に障がいがある人たちが行うチーム球技です。1976年にパラリンピックの正式種目となりました。

視覚障がいの程度にかかわらず、選手はアイシールド(目隠し)を着用して視覚を完全に遮断した状態で競技に臨みます。1チーム3人で、バレーボールコート大のコートで対戦します。両サイドにゴールがあり、鈴の入ったボールを転がして相手のゴールに入れて得点を競います。攻撃側は、投げるボールのス

ピードやバウンドの高低をコントロールして、ディフェンスしにくいコースを狙います。守備側は、ボールの鈴の音や相手選手の足音、ボールがバウンドした位置などによってボールのコースを察知し、全身を使ってボールを止めようとします。選手は音を頼りにプレーするので、観客には静かに見守ることが求められます。



見どころ

できるだけ音を出さずに投球したり、投げ手以外の選手が足音や手拍子、声を出したりといった、音を使った駆け引きが大きな見どころです。ボールの大きさはバスケットボールとほぼ同じですが重さは約2倍。猛烈な勢いで転がるボールとそれを全身で受けるダイナミックな動きは迫力満点。見た目以上にハードで高度な技術が求められます。ゴールが決まった瞬間やタイムアウトなどゲームが止まっているときには大きな歓声を送りましょう。こうした選手と観戦者との一体感も観戦の醍醐味(だいごみ)です。

ゴールボール

ボールの位置と動きに集中、瞬時の判断とダイナミックな動き

東京2020大会概要

●正式名称:東京2020パラリンピック競技大会 ●開催期間:2020年8月25日(火)~9月6日(日) ●競技数:22競技

アーチェリー、陸上競技、バドミントン、ボッチャ、カヌー、自転車競技、馬術、5人制サッカー、ゴールボール、柔道、パワーリフティング、ボート、射撃、シッティングバレーボール、水泳、卓球、テコンドー、トライアスロン、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、車いすラグビー、車いすテニス

カヌーとは

パドルを操って進む小舟の総称で、水上の移動手段として数千年前から歴史に登場します。競技としてのカヌーは19世紀に英国で発祥。流れのない直線コースで一斉にスタートして着順を競うスプリントと、激流を下りながらゲートを通ってタイムを競うスラロームとに大別されます。障がい者が行うカヌー競技全般をパラカヌーと呼びます。カヌーと体のフィットティングは重要で、障がいに応じて座席の改造や固定ベルトなどを工夫します。

パラリンピックでの採用種目は個人200mスプリント。下半身や体幹に障がいのある選手が対象で、障がいの程度により3クラスに分類します。

艇はカヤックとヴァアの2種類。両側にブレードが付いたパドルを用いるカヤックと、東京2020大会の新種目であり、カ

カヌー

上半身の力を駆使したパドリングテクニックが光る、水上の熱き戦い



見どころ

「水の上は究極のバリアフリー」と言う選手もいるほど、カヌーに乗り込むと障がいを感じさせません。スプリントは短距離を全速力で駆け抜けるため、しぶきを上げ、水面を滑るように突き進んでいく迫力に圧倒されます。いかに効率良く、力強く、また安定してパドルを回転させることができるか。パドリングテクニックが勝利を左右します。「カヤック」と「ヴァア」との違いを見比べる楽しさもあります。水の上を爽やかに漕ぎ進む姿と鋭いバランス感覚に魅了されるでしょう。

カヌーは、カヤックとヴァアの2種類。カヤックは、パドルを両側から使う。ヴァアは、パドルを片側から使う。どちらも、パドルのブレードが片側だけ付いている。

トライアスロン

不屈の精神とチームワークで3種目に挑む

トライアスロンとは

スイム(水泳)、バイク(自転車)、ラン(長距離走)の3種目を連続で行って、順位を競うトライアスロンは、1974年に米国で誕生しました。

障がいがある選手が行う競技をパラトライアスロンと呼び、スイム750m、バイク20km、ラン5kmの全25.75kmの合計タイムで順位を競います。スイムからバイク、バイクからランに競技種目を転換(トランジション)する所要時間も合計タイムに含まれます。このとき、1人では競技することが困難と認められた選手に限り、手助けをする「ハンドラー」を1人つけることができます。また、視覚障がいの選手は「ガイド」と呼ばれる伴走者1人と共にレースを行います。

障がいの種類や程度に応じて、「シッティング(座位)」「スタン

見どころ

天候や気温など自然の影響により困難なレースとなっても選手たちは不屈の精神で挑みます。その姿は私たちに感動をもたらす、世界的にも愛好家が多い理由でもあるでしょう。

トランジションの様子も見どころの一つ。ウェアや他の用具・装具の着脱、準備をハンドラーが支援します。また、選手とレースを通して伴走し、選手の目となり安全にコースを導くガイドには高い競技力や判断力が必要です。日頃から選手と練習を共にし、チームワークを磨く彼らの存在にも注目!

ディング(立位)「ブラインド(視覚障がい)」に分けられ、障がいに応じて用具や装具の使用や改造も認められています。



「活きた情報提供の体制を」 生産者が農政推進本部長と現地で意見交換

1月20日、大分県農協農政推進本部の二宮伊作本部長（JA大分中央会会長）が、下郷農協から選出の同本部生産者委員・玉麻農夫男さんを訪ね意見交換しました。

この取り組みは、平成28年度から県下各JA単位で実施していた集合会議形式の意見交換会に代り、県内の各生産者委員の圃場などで農業生産現場の声を直接聴き取り、同本部の今後の農政活動と事業運営の活性化を図り、生産者の所得向上を目的に行われました。



現地圃場で意見を交わす玉麻委員（左）と二宮本部長

「JAグループ大分のトップ層が農業・農村の抱える問題を打開するため現場に向く取り組みは重要。」と玉麻さんは話していました。

(f)

会員同士の交流の場

大地の会が農協食材使い「料理会」

2月2日、えくるピア久留米で産直大地の会久留米（緒方忠臣代表）の会員さんら20名が集まり料理会を開きました。年間の恒例行事で、日ごろ会えない会員同士や生産者との楽しい交流の場でもあります。

今年の料理テーマは「中華」

で、マーボー豆腐・油淋鶏・棒棒鶏・酢豚などの料理を、グループに分かれレシピを確認しながら調理しました。

また、当日会場での即売用に農協が用意した野菜を使って、即席でスープや炒めものを作るなど、たくさんのメニューが出来上がりました。

調理後には食事会を開き、作った料理を試食し出来栄を評価しながら楽しく交流しました。

料理会には初めて参加しましたが、会員のみならずとでも手際が良くて圧倒されっぱなしで、さ



農協食材で「中華料理」に挑戦する産直の会員さん

すがプロ（主婦）と感じました。出来上がった料理も農協食材の良さを十分に引き出していて、大変美味しくいただきました。また、機会があれば参加させていただき、消費者のみなさんと親睦を深めたいと思います。（企画部お客様センター）

知って得する！農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金
「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

■ 農業者なら誰でも入れる **「終身年金」** です！

■ 一定の要件を満たす方には、
月額最大 **1万円の保険料補助**

■ 加入で大きな節税効果！
保険料は **全額社会保険料控除の対象**

※農業者年金の加入は、
「国民年金第1号被保険者であること」
「年間60日以上農業に従事していること」
「60才未満であること」
の3つの要件を満たしている必要があります。
※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ！



終身年金で
安心！

詳しくは… 農業者年金基金 検索 <https://www.nounen.go.jp>

人権の話 ～私を変えた一言～

リハビリ施設を訪問したときのお話です。
施設内を見学してトレーニングルームに入った時です。
病室ではまぶしいほどの笑顔で迎えてくれた少女が、
歯を食いしばってトレーニングをしていました。

帰りに「がんばって」と声をかけました。
するとその少女は、一瞬、悲しい目をしてこう言いました。
「私ね、毎日、毎日…毎日頑張ってるよ。これ以上どう頑張れって言うの…」

その言葉を聞いた瞬間、「はっ」としました。
毎日頑張っている人の一瞬を垣間見ただけで
全てがわかったような気になっている自分を恥じました。
テレビを見ているとき、おやつを食べているときにも、
一生懸命努力している人がいることに気づいて以来、
時間を作ってはボランティア活動に精を出すようになりました。

私たちは、頭の中では「人に優しく」「思いやりを持って」などと
理解していますが、
肝心なのは行動に移すことです。

思いやりの行動が春の芽吹きのように街中に広がっていくよう、
身近なことからなにか始めてみませんか。



大分県生活環境部人権・同和対策課発行
「心ひらいて」より



節分企画、バレンタインデー企画 大変好評いただきました!!

節分企画では、ご来店頂いたお客様へ節分豆をプレゼントしました。また、バレンタインデー企画では、ご来店頂いた男性のお客様へチョコレートをプレゼントしました。どちらの企画もお客様から「うれしい!!ありがとう!!」などのお言葉をいただきました。ご来店いただいたお客様がちょこっと幸せな気分になれるようにこれからも色々な企画を行います。



* 新入学の準備は農協で!!

体操服（名前入れ可能・事前予約が必要です）、赤白帽子、通学帽子、上靴、筆記用具 などなど ふれあいの店で購入が出来ます。ご不明な点がございましたら店員にお声かけください。

* 3月14日（土） ホワイトデー企画

ご来店いただいたお客様へ「ハートのおからクッキー」をプレゼント（数量限定）します。日頃の感謝をハート♡に込めてお渡しします(*^^)v
ホワイトデー特設コーナーも設置しますので、ぜひご利用ください。下郷農協商品の詰合せでお返しはいかがでしょうか!?ラッピングも可能ですので気軽に店員にお声かけください。

3月28日(土)のポイント 2倍デー情報!!

もうすぐお花見シーズン到来!!桜の木の下でお花見はいかがでしょう?

そこで、お花見バーベキューセットを企画します。黒毛和牛（カルビ450g）・耶馬溪黒豚（バラ焼肉450g）・ウインナー（150g×1袋）のセット企画を通常価格の約2割引きの4,500円で販売します。

要予約になりますので、3月26日(木)まで店頭でご予約をお願いします。

休業のお知らせ

購買部ふれあいの店は、

4月1日（水）

決算棚卸のため、
休業とさせていただきます。

直通電話 0979-56-2225 営業時間 平日 8:30~18:30 土・日・祝日 8:30~17:00



農家経営と 所得増大に役立つ情報

●購読のお申し込みは **JA** へ 購読料 1カ月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrinews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動

読者からのメッセージご紹介

皆様のあいさつ（新年号）で前向きな姿勢を感じました。また、新年の作法をあらためて読みました。

（八幡東区 K様）

安心・安全な商品をいつもありがとうございます。乳製品・豆腐がおいしくて人気があります。下郷の配達トラックをみて「なつかしい」と会員が増えました。遠いところをいつも配達ありがとうございます。これからもよろしく願います。

（北九州市若松区 O様）

下郷診療所からのお知らせ

3月15日（日）9:00～17:00
は日曜当番医です。TEL:56-2361

理事会だより

1月29日、第10回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項 ①葬儀施行委託契約について
②その他

第一号議案：12月決算承認の件について
第二号議案：財務改善計画書の承認について

- ・報告事項の葬儀施行委託契約については、昨今の組合員葬儀事情および葬儀用の近隣行政施設、農協葬儀人員体制等を勘案し、下郷農協と（有）中津葬儀社（本耶馬溪町樋田の「あすか本耶馬溪斎場」）で葬儀施行委託の契約締結協議を行い、組合員ニーズに応えられるための対応を進めていることが報告されました。
- ・第一号議案の12月決算承認の件については、事業利益6,993千円の計画に対し△15,406千円で22,399千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち診療所2,086千円・購買534千円が達成、貸付5,405千円・販売商品3,917千円・食肉3,488千円・販売2,398千円・惣菜1,834千円・農産1,822千円・牛乳1,779千円・共済1,582千円等が未達成となりました。
- ・第二号議案の財務改善計画書の承認については、大分県より2018（平成30）年度業務報告書において、農協法に定める自己資本の基準を満たしていないとして財務改善計画の提出を求められたため、新たに策定した計画書を理事会付議し承認を受けました。
- ・その他の事項では、1982（昭和57）年7月に敬老年金支給規程を制定し、その年の第26回下郷農協まつりから支給が始まった「敬老年金」について、昨今の社会的状況を踏まえ支給条件を「60歳」から「65歳」に年齢条件を引き上げる規程変更を検討、組合員（3月開催の一斉集落常会等）から広くご意見を伺いながら合意形成を図り規程変更の手続きを進める事としました。

読者プレゼント

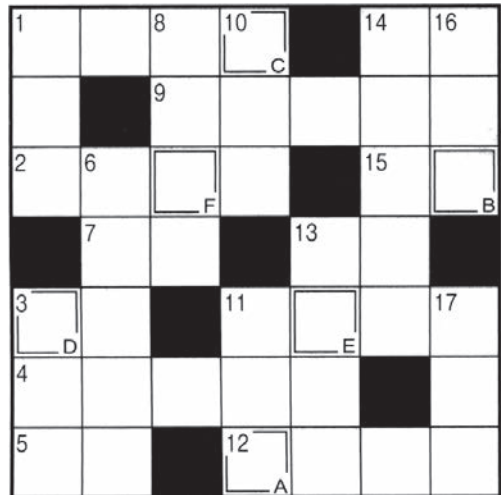
パズル?

頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

- タテのカギ
- 1 成長すると鶏になります
 - 3 太陽が東から昇る時分
 - 6 車の方向指示器のこと
 - 8 事故などを現場に居合わせて直接見る
 - 10 工業。——社会。——政党
 - 11 地震、雷、火事、——
 - 13 真ちゅうやステンレス、はんだなど
 - 14 雑巾を用意して年度末の——をした
 - 16 版画を刷るときに使います
 - 17 旧暦3月の異称です



- ヨコのカギ
- 1 ひな人形に供える角張った食べ物
 - 2 守備の反対語
 - 3 サンとゴの間
 - 4 兵庫県の郷土料理。地元では卵焼きとも呼ばれます
 - 5 A、B、C……と数えて11番目
 - 7 走ると切れることも
 - 9 京の着倒れ、大阪の——
 - 11 白井義男は日本人初のボクシング世界——です
 - 12 骨と骨とをつなぎます
 - 13 白米を量るときに使う単位の一つ
 - 14 父や母の姉妹です
 - 15 ——して得取れ

先月号のこたえ



先月号のこたえ 「チョコレート」
 当選者 耶馬溪町金吉 松田わき子 様

先月号のこたえ

8	1	9	7	2	4	5	6	3
5	6	2	8	3	9	7	1	4
4	3	7	5	1	6	8	9	2
7	9	1	4	8	3	6	2	5
6	5	3	1	7	2	4	8	9
2	4	8	6	9	5	1	3	7
1	2	4	3	5	8	9	7	6
3	8	5	9	6	7	2	4	1
9	7	6	2	4	1	3	5	8

先月号のこたえ ①+⑧=9
 当選者 北九州市八幡東区 高田 環 様

解答は次号で

6	5	3						
	1				9	2		
				5				1
				8	5			
2								3
		4	1					
3			2					
	8	6					4	
				9	6			7

《数独のルール》
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

数独 (すうどく)

応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇二〇年三月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ A B C D E F (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見・ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七九-〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一-四
 下郷農協 企画部 宛
 Faxの方は 〇九七九-五六一-二八八九

*個人情報他者への開示は一切致しません。当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

ふれあいの店に応募箱を設置しています。たくさんのお応募お待ちしております!!

